

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 城陽市立寺田小学校 】

<スポーツ庁テーマ>

1 実践テーマ	【 III 】
2 実施対象者	全校児童 447名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ( 国語・総合的な学習の時間・学活等 )</p> <p>② 行事名 ( )</p> <p>③ その他 ( )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ( )</p> <p>② その他 ( )</p>
4 目標 (ねらい)	<p>オリンピック・パラリンピックの競技に対する興味関心を深め、競技に関わる選手や競技団体の並々ならぬ努力を知ること、夢に向かって努力することの大切さや素晴らしさや共生社会の在り方について考えることができる児童を育成する。</p>
5 取組内容	<p><b>(1) 図書室にオリンピック・パラリンピックコーナーを設置</b></p> <p>今年度は、コロナ禍の中で、昨年度と同じ様パラリンピック競技に関わる選手やサポートする団体の方の講演を聞くような取り組みを行うことは難しいこともあると考え、スポーツ関連の図書の充実を考えた。</p> <p>2 学期中旬に図書室にオリンピック・パラリンピック競技をはじめとするあらゆるスポーツの書籍を集めてオリンピック・パラリンピックコーナーを設置した。</p> <p>児童が授業や家庭学習の中で、調べ学習などをするときオリンピック・パラリンピック関連の図書を手に取り学習を進めたり、休み時間の読書活動の中で読んだりできるようにした。</p> <p><b>(2) 学校だよりでの周知(12月)</b></p> <p>学校だよりに図書室のコーナー設置の様子や子どもたちの利用の様子について記事を掲載し、保護者や地域の方々に学校の取組や「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」について周知した。</p>



6主な成果	<p>本校には今までオリンピック・パラリンピック競技やスポーツに関わる図書が比較的少なかったので、今回の取組で、本校の関連する図書の充実を図ることができた。</p> <p>図書室の入口すぐの一番目立つところにコーナーを設置したことで、来室すると児童がよく手に取ってスポーツ関連の本を読んでいた。また、オリンピック・パラリンピック競技の図書を借りて家庭学習の中の自主学習ノートに競技について詳しく調べてまとめる児童もみられ、オリンピック・パラリンピックに対する児童の興味・関心が高まった。</p> <p>本校の図書室の様子や児童の読書の様子、また、本校が「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」に参加していることなどを保護者や地域の方々に周知することができた。</p>
7実践において工夫した点(事業の特色)	<p>図書館司書教諭と事業内容を共有し、図書を選定した。より児童がオリンピック・パラリンピック競技に興味を持つために効果的な図書は何か、学習に生かせる図書は何かなど、図書をリサーチする専門性と知識が大切であった。</p>
8主な課題等	<p>日頃の児童の読書活動や家庭学習では活用しやすいが学活や総合的な学習の時間等の授業の中で図書を活用する際は、年間カリキュラムの中に「オリンピック・パラリンピック競技に関わる学習活動」を位置づける必要がある。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>来年度にオリンピック・パラリンピック東京大会が行われるので、講演していただいた選手を子どもたちと共に応援したり、「I'm POSSIBLE」の教材は、本校の障がい児者理解教育の中でも継続して活用したりしていきたい。</p>